

中小企業でも取り組める！大きなチャンスとメリット！

全2回

カーボンニュートラルに向けた 省エネ・脱炭素経営セミナー

～地域資源循環型ビジネスの提案～

第1回 2025年7月7日(月) 14:00～16:00

場所 茨木商工会議所 会議室

茨木市岩倉町 2-150 立命館いばらきフューチャープラザ1階

内容

※茨木商工会議所の専用駐車場はございません

1. 脱炭素化に向けた国の動向と中小企業向け支援策のご紹介
講師:環境省 近畿地方環境事務所
2. CO₂排出量の見える化の重要性とSBT取得ツールの紹介
講師:OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション
3. CO₂削減に取り組む企業の事例
講師:株式会社マコト電気 脱炭素アドバイザーアドバンスト 宅和誠治氏
4. CO₂削減に向けた企業向けソリューション
講師:ゴウダ株式会社 取締役 合田泰博氏
(くらしの創造館 館長、産業推進室 室長)

対象 経営者、環境担当者、
環境ビジネスに興味のある方定員 各回30名
(先着順)

参加費 無料

主催・問合せ・申込先

茨木商工会議所

TEL: 072-622-6631 FAX: 072-622-6632

高槻商工会議所

TEL: 072-675-0484 FAX: 072-675-3466

摂津市商工会

TEL: 06-6318-2800 FAX: 06-6318-2555

第2回 2025年7月17日(木) 13:30～16:30

場所 高槻商工会議所 4階 大ホール

高槻市大手町 3-46

有限会社紋珠 高槻バイオチャーエネルギー研究所
高槻市大字田能小字上条奥ノ谷 1-3内容 SDGsを具体化する「資源循環型・炭化力バイオ炭システム」
によるアナログな地域資源循環型ビジネスの提案

13:30～14:30 【第1部】セミナー

講師:高槻バイオチャーエネルギー研究所
所長 島田勇巳氏

14:30～15:10 バスで移動

15:10～15:50 【第2部】見学・質疑

(於:高槻バイオチャーエネルギー研究所)

15:50～16:30 バスで移動

(高槻商工会議所帰着後、解散)

申込HP



申込は下記申込書をFAX又はホームページより申込ください

カーボンニュートラルに向けた省エネ・脱炭素経営セミナー 参加申込書

フリガナ 事業所名			フリガナ 参加者名		
所在地	〒		TEL		
希望受講日	☐ 7/7 (月) ☐ 7/17 (木)	メール	@		

※ご記入いただきました個人情報は、本事業の運営及び弊所からの情報提供のみに使用し第三者には提供しません。

詳しいセミナー内容は裏面を参照してください→

脱炭素経営とは

脱炭素経営とは、気候変動対策の視点を織り込んだ企業経営のことです。近年、自社の経営上の重要課題としてだけでなく、大きなビジネスチャンスとして取り組む企業が増加しています。

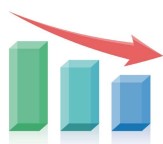
このような方に参加をオススメします！

脱炭素経営に**取り組むメリット**について知りたい
自社のビジネスの中で**何から取り組めばよい**か分からない
温室効果ガス排出量の**把握・測定**を求められている
温室効果ガス排出量の**削減目標・設定・進捗**を求められている
中小企業版SBT認証制度取得を求められている

「脱炭素経営」に取り組む様々な事業者メリット



知名度・信頼性向上



省エネ・省資源
コスト低減



人材獲得力強化
従業員意識改革



資金調達・補助金優遇



競争力強化

第2回 7/17（木）セミナー講師プロフィール

「資源循環型・炭化力バイオ炭システム」 によるアナログな地域資源循環型ビジネスの提案

有限会社 紋珠 高槻バイオチャーエネルギー研究所
所長 島田 勇巳(しまだ はやみ)氏

1959年大阪市生まれ 1982年大阪芸術大学芸術学部建築学科卒

1982年株式会社クボタハウス大阪／1986年株式会社アイ・エフ・プランニング／1997年株式会社フォンタアジュの戦略企画を担当。

大阪事務所長、執行役員を経て2003年6月独立し「有限会社紋珠設立」／2006年オーストラリアに現地法人を設立／2012年高槻市環境審議会委員就任／2013年大阪市立大学大学院創造都市研究科都市経済政策分野修士修了

2013年4月 現・高槻バイオチャーエネルギー研究所を設立し、二次創業として炭化事業を開始。独自の炭化炉を開発し全国に展開する／2020年「無動力炭化平炉 登録No.6755575」・2022年「密閉式炭化炉 登録No.7142098」に関する特許取得。



事業内容：地域の未利用資源を活用資源に

近年の気候変動により、全国各地で大規模な土砂崩れや洪水などが頻繁に発生しています。北摂地域においても2018年に発生した西日本豪雨による大きな被害は記憶に新しいところです。特に北摂地域で進む荒廃竹林問題の解決は防災上喫緊の課題といえます。弊社ではこの災害をきっかけに、地元地域から発生する間伐材などの未利用資源を炭化し、気候変動に対応する新たな埋設炭素としての土壤改良資材や化石燃料に代わる有機性エネルギー資材として再生させる独自の「炭化カシステム」を開発し商品化しています。



令和7年5月 石川県能登町 設置現場

炭化カシステムとは地域資源循環型のエネルギーシステム

炭化カシステムは、様々な有機性資材を高温で且つ短時間で炭化できる資材化する炭化ユニットだけでなく、同時にその炭化資材や炭化時に発生する排熱を活用し熱エネルギーを生成できる資源循環型の独自のエネルギーシステムです。直近約3年間で日本全国21都道府県に合計31箇所・58基導入いただき、5月には能登半島地震の被災現場に導入いただきました。



密閉式炭化ユニット

■密閉式炭化ユニットの特徴

1. 炭化温度 約600℃～700℃ 石炭と同等の約6500kcal/kgの燃料炭を生成できる
2. 炭化時間 木・竹材は約5時間 穀殻・木チップは約3時間 製炭作業に夜勤無し
3. 移動性能 4tユニット車での搬送・設置・炭化・撤収が可能

第2回セミナー後に移動して現地で見学をします
自社で廃棄している未利用資源を活用して炭化できないかなどの具体的な質疑も可能です